

高萩市議会議員

おおひらのぞむ

大平望

SNSも是非ご覧ください!



Profile

1994年生まれ、高萩小、高萩中、日立一高、千葉大文学部卒。
小中は野球、高校大学はラグビー・アメフトに打ち込む。
2017年みずほ証券に入社、2020年から下村博文事務所。
2023年より高萩市議選当選、現職となる。

30歳

令和7年6月議会 一般質問と提案

【SNSを活用した関係人口等の拡大策について】

1. 質問要旨

本市は他都市に比べ認知度が低く、それが大きな機会損失となっている。定住人口の拡大が難しい中、交流人口・関係人口の増加が急務であり、そのためにはSNSを活用した広報が不可欠である。SNS運用には専門性と戦略的な予算配分が必要であり、行政と共通認識を持って取り組むべきである。

2.SNSは市外への「入り口」

高萩市という存在そのものが認知されなければ、交流人口の拡大や移住促進は始まらない。まずは、多くの人々に高萩市の魅力やイベントを知ってもらう必要がある。SNSを活用した戦略的な情報発信は市の存続に不可欠であり、市内最大のプラットフォームである行政が積極的に動くべきと主張。

3. 専門性ある運用が必要

SNSを始めとした広報活動とは、専門性が高いものであり継続的にかつ戦略的に行う必要がある。しかし行政での対応は短期間での人事ローテーションもあり、ノウハウの蓄積は困難である。一方で企業にはSNSのアルゴリズムやトレンドを把握している企業も多くあり、こういった企業に民間委託しながら、行政もともに知見を蓄えていくことが必要と考える。

4.SNSの運用は専門性×チーム運営

現在の各課・個人対応によるSNS運用体制は不十分であり、理解不足が見受けられる。大手企業の事例を参考に、民間と連携した「SNS運用チーム」を設け、観光PRやシティプロモーション、ふるさと納税PRなどへ展開すべきである。その中核を担う民間連携の費用としては、年間人件費一人分相当である500万円前後は予算として組み入れるのが妥当だと考える。

5. 財源について

観光庁の補助金制度の活用やクラウドファンディング、協賛金、紹介料など多様な資金活用の可能性を提示。例として、TikTok動画の最後に協賛企業を紹介する形にすれば、広告効果も期待できると提案。



大平 望 議員

6. 執行部回答

交流人口及び関係人口の拡大への取組に力を入れており、SNSによる対外発信を重要視している。民間委託による効果的なコンテンツ制作や情報発信は進めていきたい一方で、運用体制の整備や成果指数の明確化・情報発信の偏りへの配慮やトラブル発生時の迅速な対応などの課題もある。こうした課題と向き合いながら、SNS発信の可能性を踏まえ、民間委託の導入を調査・研究していく。

Photo Gallery

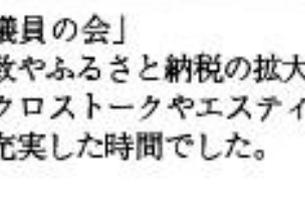
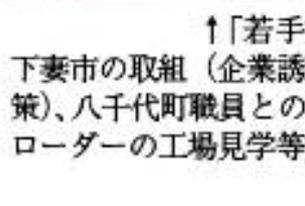


↑「4月のドッグフェス」
たくさんの来場者の笑顔に包まれていました。年2回開催を予定し、高萩を代表するイベントになる予感。

↑総務産業委員会及び広報委員会での
行政視察先



←↑にここに地域食堂
1周年を多くの来場者
と共に祝福。代表・吉
田奈々さんがスタッフ
へ感謝状を贈呈



↑「若手議員の会」
下妻市の取組（企業誘致やふるさと納税の拡大
策）、八千代町職員とのクロストークやエステイ
ローダーの工場見学等充実した時間でした。



↑日立一高ラグビー
部 80 周年記念試合に
むけた練習会

↑常陸多賀駅前の花
壇整備が、県北地域
の交流拠点として賑
わいを見せています。



↑「都議選応援」
河野ゆうき都議候補
の決起大会に参加。
他地域との繋がりを
深めていきたい。



↑北茨城ロータリー
クラブ 50 周年記念式
典に参加

地域 Topics

アントレプレナーシップ出張授業

7/17 (木) 13:40 ~ 5 時間
目の時間を利用して松岡中学
校体育館にてアントレプレ
ナーシップの公開授業が行わ
れます。全校生徒&保護者や
地域の方々の参加も自由！文
科省のアントレプレナーシッ
プ推進大使であるガイアッ
クスの吉川さんをお招きし
ています。是非アントレプレ
ナーシップとは何か、どう
高萩市の未来に繋がるのか
を参加して実感してくださ
い。



↑アントレプレナーシップにつ
いて東京まで高萩市への協力依
頼に行った時のスピーチと市役
所での打ち合わせ

はぎっず・ウィンド・アンサンブル

中学部活動の地域移行に際して、高萩市吹奏楽
団に休日練習の一部を委託するなかで生まれた合
奏団。団体と学校の垣根を超えた 100 人越えのアン
サンブルは地域移行の大きな可能性を示してく
れています。日立シビックセンター新都市広場で
行われた WORLD FOOD & MUSIC FESTIVAL
(主催：株式会社
PROUD) では、代表
の五十嵐さんのご厚意
もあり、2 日目一番手
に大空の下合奏を行っ
ていました。みんな笑
顔で気持ちよさそうで
した！

